


J

日本語版

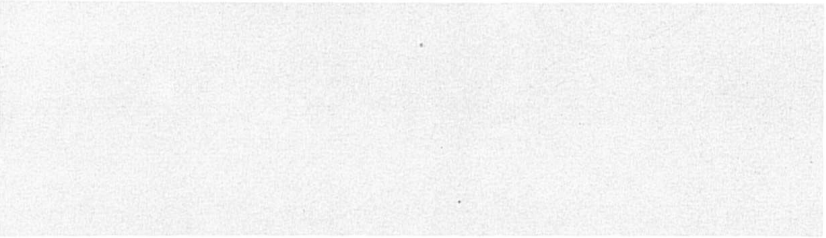
Canon  
デトマチック



使用説明書



キヤノンデートマチックをお買上げくださいます  
してありがとうございます。このカメラはキヤ  
ノン独自の日付け写込み機構をはじめ、撮影を  
楽しくすすめるためのすぐれた諸機構をそなえ  
ています。ご使用前にはぜひ説明書をお読み  
いただき、その性能を十分ご活用くださるよう  
お願いします。





## データマチックの性能

レンズ：キヤノンレンズ40mm F2.8 4群5枚構成  
焦点調節：回転ヘリコイドによる二重像合致式  
距離目盛り：0.8 1 1.5 2.5 ∞ m (他にゾーンフォーカスマーク付)

シャッター：プログラムEE式電気シャッターセイコーESF  
EE連動範囲：ASA100 でEV1~17

フィルム感度目盛り：ASA25~400

フィルター補正：自動

フラッシュオート機構：キヤノライトED使用によりEEのままで距離合わせに連動する自動露出機構 一般の発光器ではガイドナンバーセッ  
トによるフラッシュオート撮影可能

ガイドナンバー目盛り：14 20 28 (中間値は使用不可)

シンクロ接点：X接点

ファインダー：視野内にパララックス補正マーク  
視野枠日付け写込みマーク 距離計  
バッテリーチェッカー兼手ブレ警告  
ランプなどを表示

フィルム巻上げ：1作動132° 回転巻上げレバー

フィルム装填：多スリットスプール採用

裏蓋開放：巻戻しノブの引上げ操作

フィルム枚数計：裏蓋開閉による自動復帰順算式

アクセサリシュー：フラッシュ直結接点付き

Date(日付け)機構：年月日の写込み機構 Dateセッ  
トは鏡胴のダイヤルセット

Date(日付け)表示：年：77~86 0~9  (西暦表記)  
月：0~12   
日：0~31

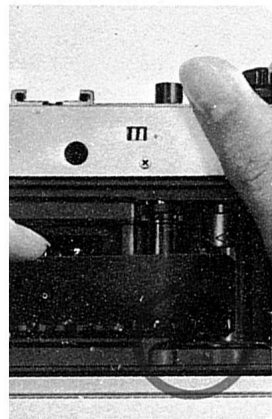
大きさ・重量：118×75×59.5mm・440g



## 目次

撮影手順早わかり	6
水銀電池のつめ方	8
バッテリーチェック	9
フィルムのつめ方	10
フィルムの巻上げ	13
EE撮影	14
フィルムの巻戻し	20
日付けセット	22
フラッシュ撮影	24
セルフタイマー撮影	27
フィルターを使うときは	28
カメラの保持についての注意	29
デートマチックのアクセサリ	31

1



フィルムをつめる  
(P. 10)

2



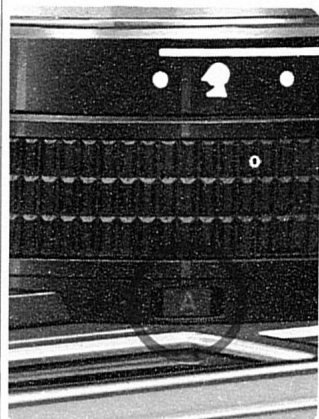
レンズキャップを  
はずす

3



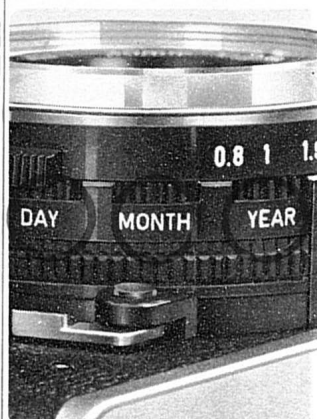
ASA感度を合わせる  
(P.14)

4



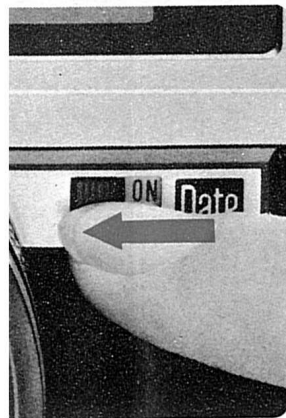
A(オート)にセット  
する

5



日付けをセットする  
(P.22)

6



日付け用スイッチ  
をONにする

7



フィルムを巻上げる

8



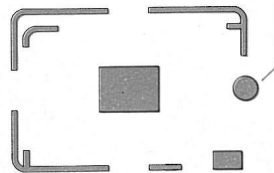
ピントを合わせる

9



シャッターボタン  
を押す

警告マーク

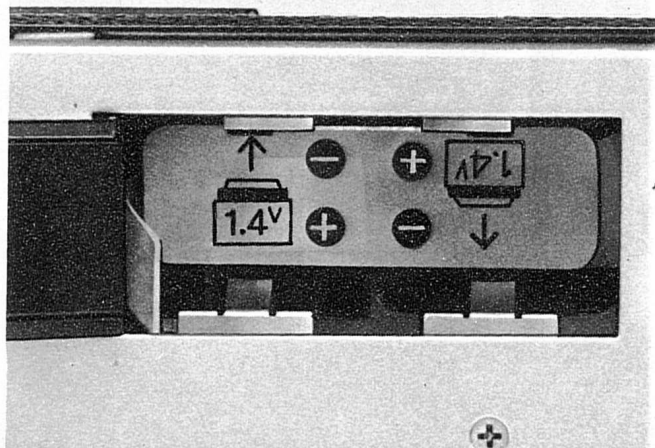
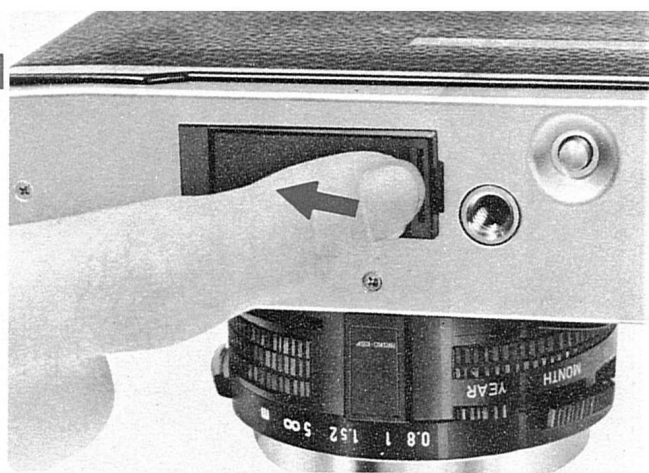


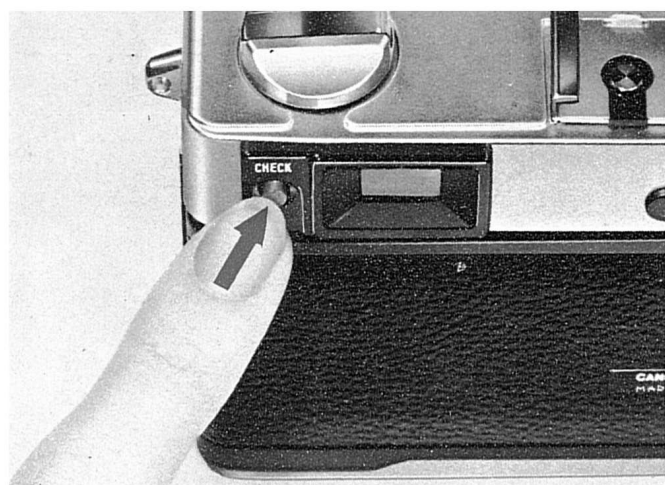
○ファインダー内に  
警告ランプが出た  
ときは、フラッシュ  
撮影に切換えるか、  
三脚をご使用くだ  
さい。

## 水銀電池のつめ方

- 1 水銀電池室カバーの溝に爪先を入れて矢印方向に押し開きます。
- 2 電池室内の表示にしたがって、 $\oplus$  $\ominus$ の向きを合わせ、透明のリボンの上のせるようにして入れます。
- 3 カバーを指先で写真の矢印方向に押し付けながら閉じます。

- このカメラはHM-N(1.4V)型水銀電池2個を uses。耐用期間は約1年です。電池を取りかえるときは2個一緒に同一銘柄の新品にかえてください。  
なおカメラを長い間使わないときは、必ず水銀電池を抜取ってください。
- 水銀電池に汗や指紋をつけたまま入れますと、接触不良をおこしシャッターが作動しないことがあります。またカメラ側の電気接点が腐蝕されて、いたんでしまうおそれがあります。汚れていた場合は拭取ってから入れてください。





## バッテリーチェック

バッテリーチェックボタンを押すとバッテリーチェッカーのランプが点灯します。同時にファインダー内の橙色ランプも点灯します。

- 点灯しないときは電池を取りかえてください。水銀電池はカメラ販売店で取扱っています。

### ●新しい水銀電池をお求めの際のお願い

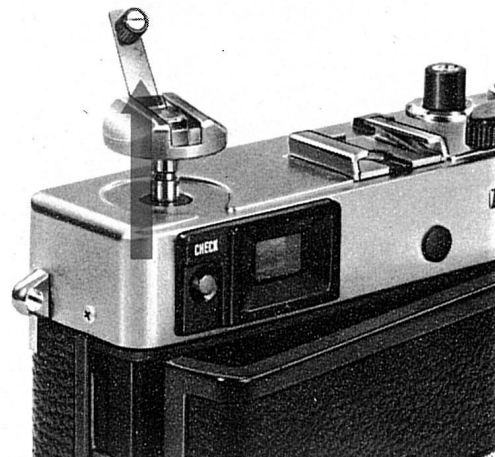
現在有機水銀による公害が問題になっていますが、カメラに使用している水銀は無機水銀で直接的な害はありません。また密封されているため、外部に水銀が出ることもありません。

しかし特殊な条件下では有機化する可能性もありますので、新しい水銀電池をお求めの際は、使用済みの水銀電池と引換えのうえお求めください。絶対に捨てないようお願いします。

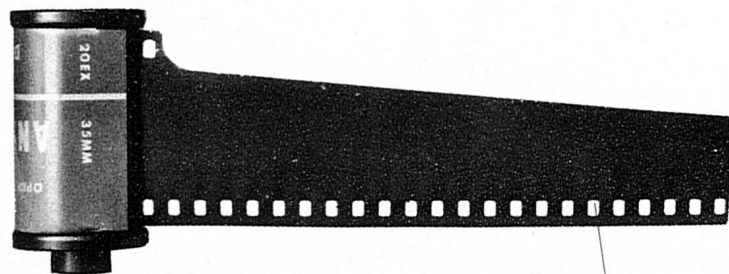
- つぎの場合はシャッターボタンがロックされて作動しませんが水銀電池をお調べください。
  1. 水銀電池が入っていないとき
  2. 水銀電池が腐蝕等で接触不良をおこしているとき
  3. 水銀電池が完全に消耗されてしまったとき
  4. ⊕⊖を逆に入れたとき

## フィルムのつめ方

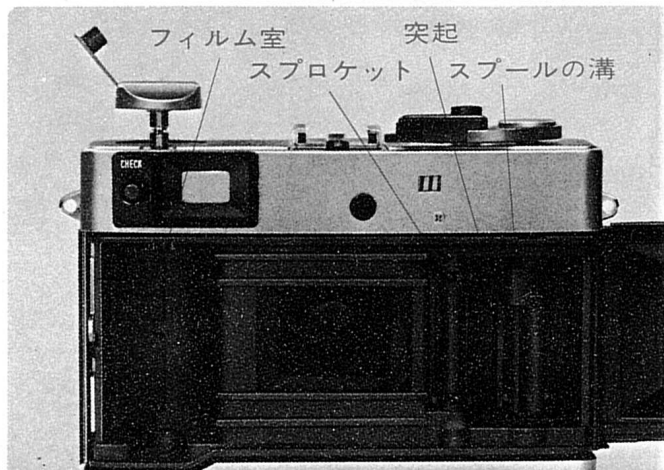
- 1 裏蓋は巻戻しノブを上方に引出し、さらに持上げると自動的に開きます。

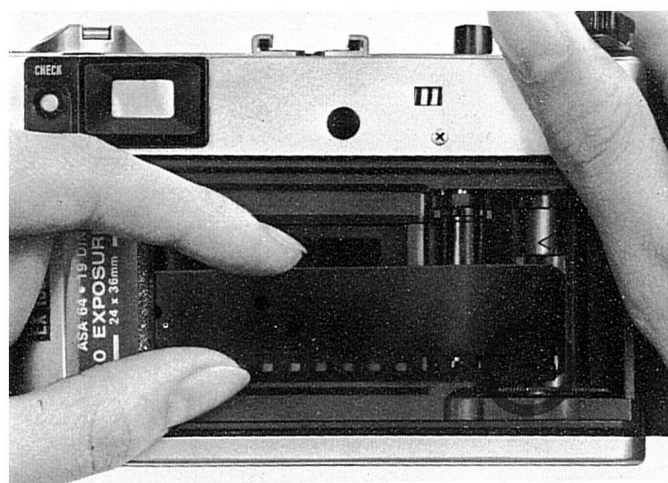


- 2 フィルム室にフィルムを入れて、巻戻しノブを押下げます。

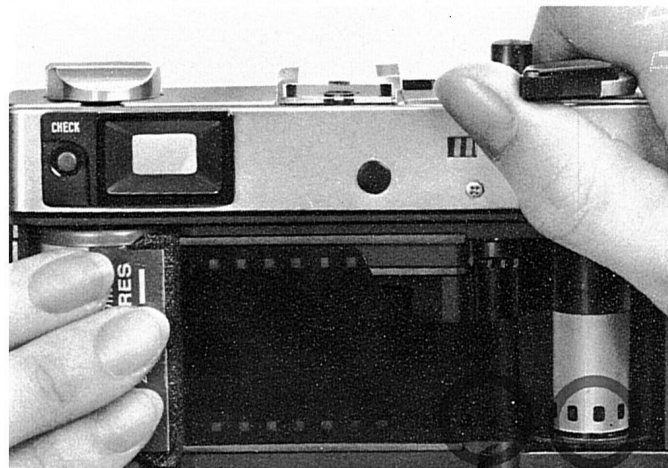


パーフォレーション



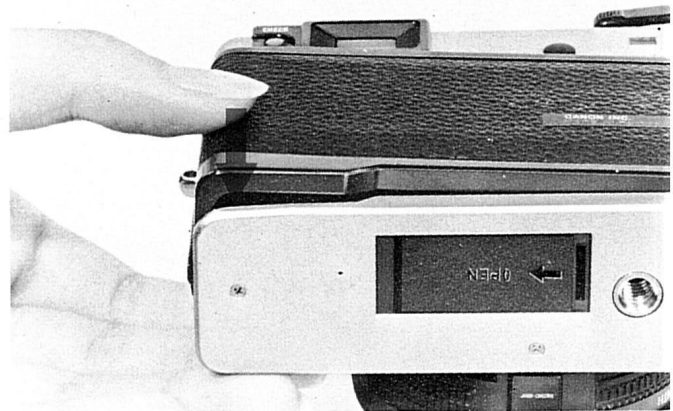


**3** フィルムを少し引出して、先端をスプールの溝にさし込みます。パーフォレーション2穴分位が適当です。



**4** 溝ぎわの突起にパーフォレーションの穴がかかるように注意しながら巻上げレバーを回し、フィルムを巻取り軸に一回転巻付けます。

- 5** パトローネの向きが正しくはいていることを確認してから、裏蓋を押付けて閉じます。

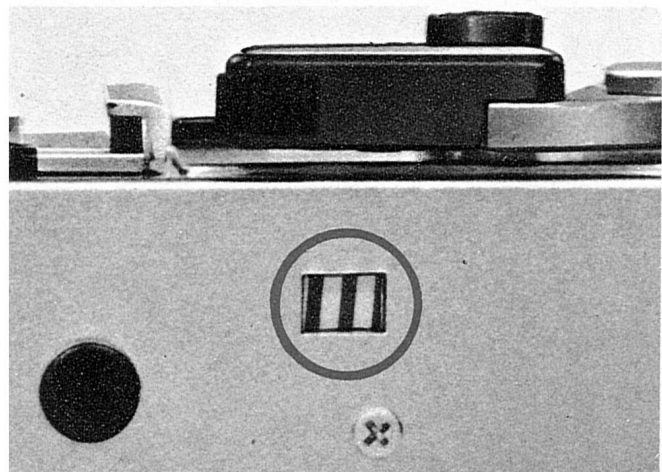




## フィルムの巻上げ

フィルムをつめて裏蓋を閉じたのち、レバーを巻上げシャッターボタンを押すという操作を2回繰返し、もう一度巻上げると1枚目の撮影準備完了です。

- フィルムが正しく送られているときは、フィルム送り確認窓で赤白の縞が動きます。これが動かないときは、フィルムを入れ直してください。
- フィルムカウンターは巻上げごとに1目盛りずつ進みます。



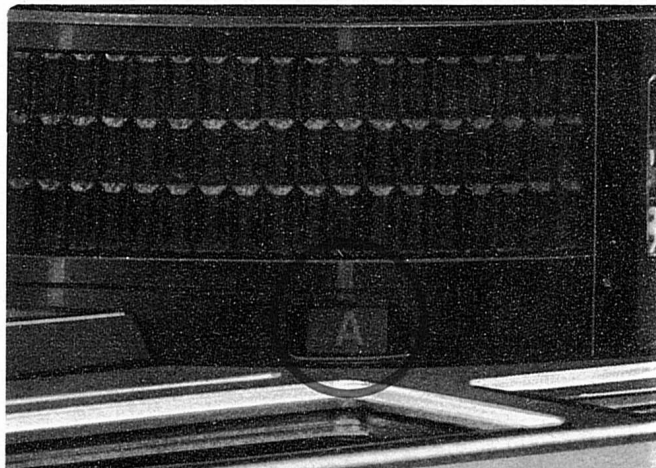
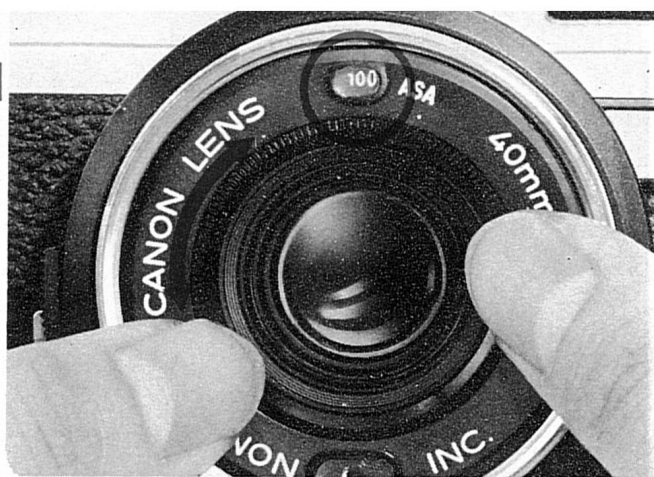
## EE 撮影

1 ASA感度をセットします。

フィルムをつめ終わったら直ちにASA感度セットをしてください。ASA感度セットリングを回して、フィルム外箱に表示されている数値をセットします。

2 A (オート) マークにセットします。

A-ガイドナンバーセットレバーを回して、A-ガイドナンバー表示窓内にAという赤い文字をセットします。これで被写体の明るさに適したシャッターと絞りが、自動的に決められるEE撮影の準備ができました。





### 3 構図を決めます。

ファインダー内の黄色い枠の中が写される範囲です。ただし1 m以内に近づいて写すときは、パララックス補正マーク内で構図を決めてください。

### 4 ピントを合わせます。

ファインダーをのぞいて距離リングを回し、中央の四角い部分で被写体の二重像がピッタリと一致するように合わせます。像が一致したときにその被写体にピントが合い、ズレたときにはピントがはずれます。



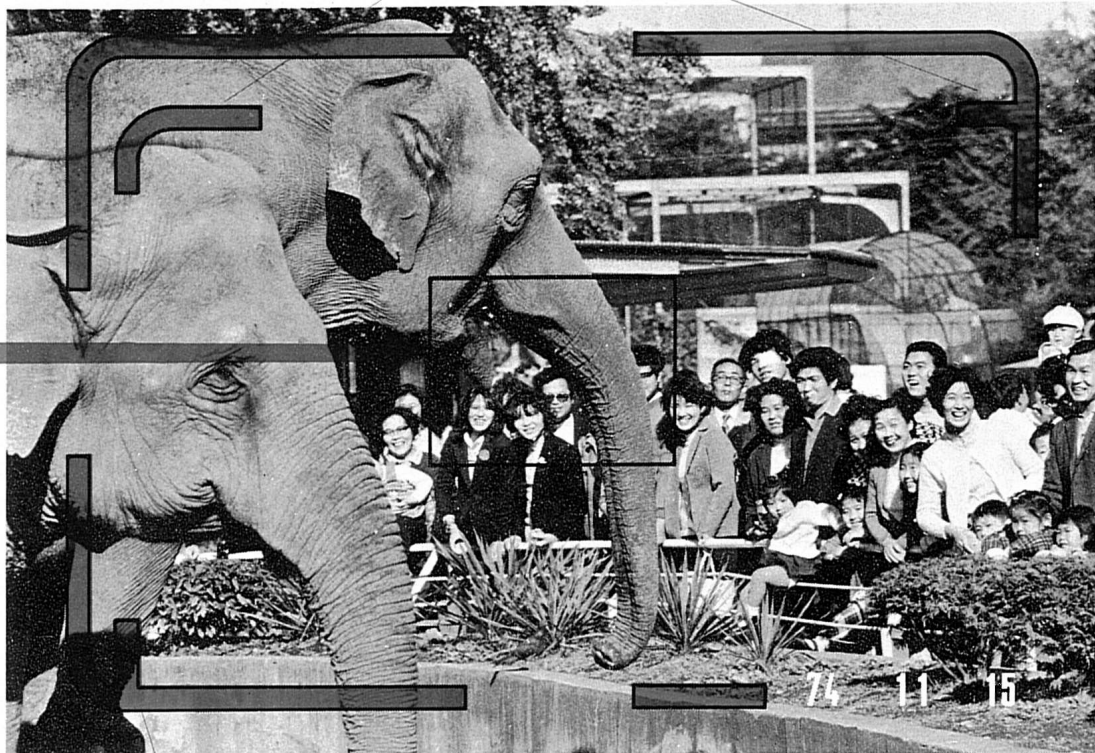
ハララックス補正マーク



ピントが合っている

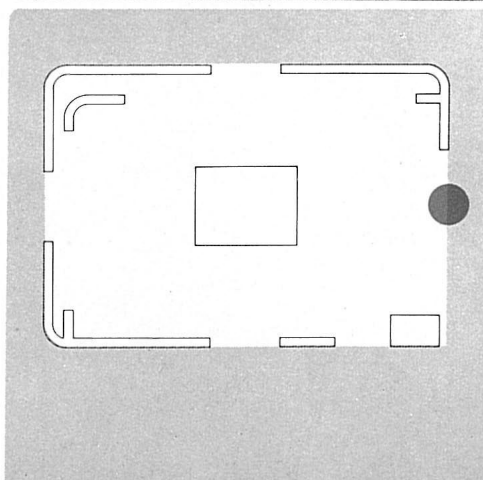
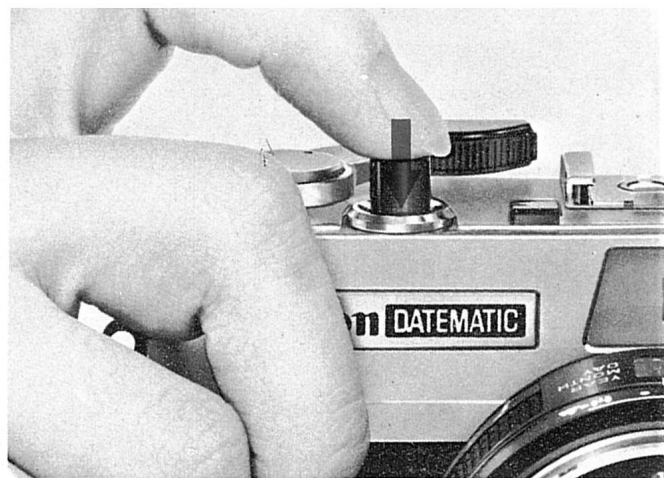


ピントがはずれている

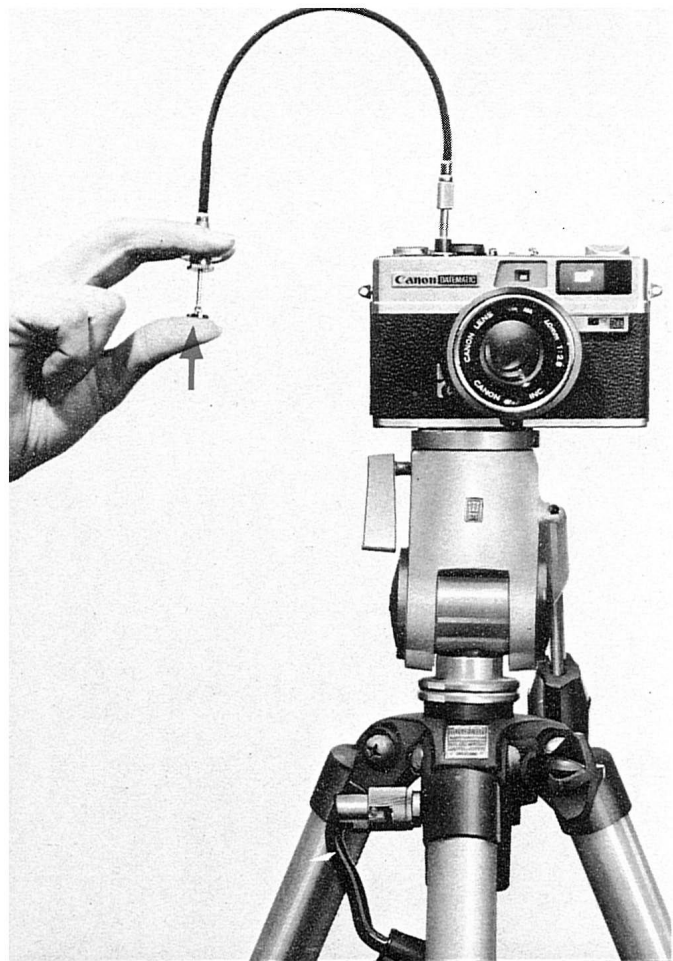


ハララックス補正マーク

**5** シャッターボタンを押します。  
シャッターボタンを押して、ファインダー内に手ぶれ警告ランプがついた場合には、明るさが足りないので長時間露出になるという警告です。このランプがついたときには、手ブレを防ぐため、三脚を使用するかフラッシュ撮影に切りかえてください。



手ぶれ  
警告  
ランプ



- 三脚を使って長時間露出をするときは、シャッターが完全に切れるまで、シャッターボタンから指を離さないください。シャッターボタンを押しつづけ、ランプが消えてから指を離すようにします。
- シャッターボタンを押しながら、あるいは押したシャッターボタンが完全に戻らぬうちに巻上げレバーを回さないでください。
- 長時間露出のときはキヤノンレリーズのご使用をおすすめします。
- 逆光で撮影するときは、ASA感度を半分程度にしてください。たとえばASA 100のフィルムを使う場合は、ASA感度を50にセットします。

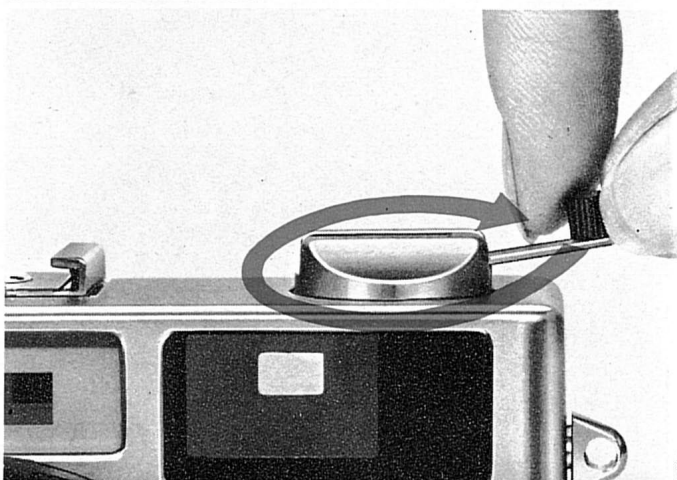
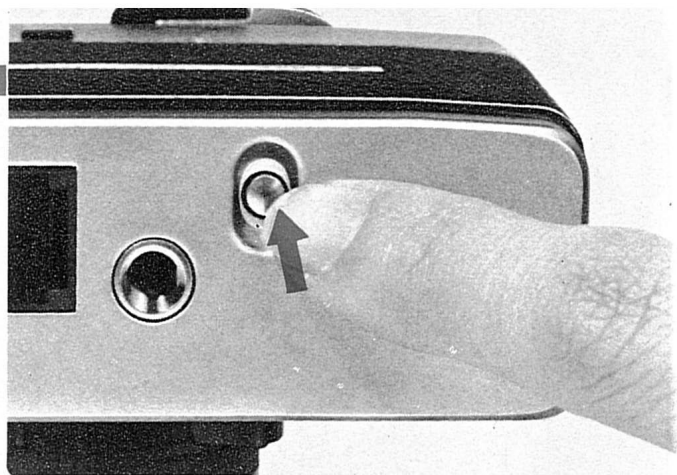


## フィルムの巻戻し

フィルムの全コマ数の撮影が終わったら、フィルムを巻戻します。そのまま裏蓋を開くと送られたフィルムが感光して無駄になってしまいますからご注意ください。

**1** 巻戻しボタンを押込みます。

**2** 巻戻しクラックを引きおこして、矢印方向に回します。フィルム送り確認窓の赤白の縞が動かなくなったら巻戻し完了です。







**3** 巻戻しノブをいっぱいに引上げ，裏蓋を開いてパトローネを取出します。

## 日付けセット

Date (日付け)機構にはそれぞれつぎの数字が組込まれています。

YEAR (年) 77~86 (西暦の下2桁) 0~9 □

MONTH (月) 0~12 □

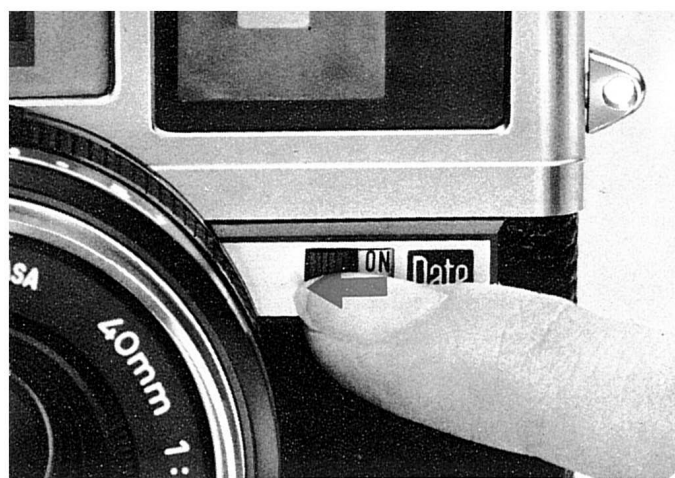
DAY (日) 0~31 □

● □印は空欄を示し、写真には何も写りません。

これらの数字を組合わせて日付けや整理番号として利用できます。この場合、3桁で999までの表示となります。

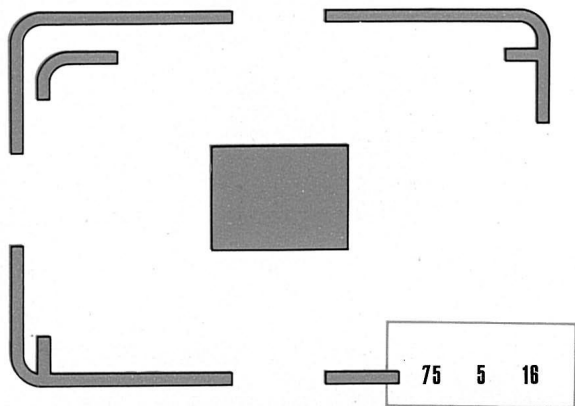
1 年のダイヤル、月のダイヤル、日のダイヤルを押し付けるように回して、日付け表示窓内に日付けを出します。





**2** 日付け用スイッチを押しつけて矢印方向に動かし、ONにしますと、ファインダー右下部に日付け写込みを示すマークがあらわれ日付けがフィルム上に写込まれる状態になります。

- 数字は画面の右下部に、左から年・月・日の順で写込まれます。
- 黑白写真の場合は白抜きで写ります。したがって右下部に白っぽい被写体がこないようにすると、よりはっきり見えます。カラー写真の場合は一般的に橙色系に写りますが、被写体や使用フィルムなどの条件によって多少異なります。
- フィルム巻上げは、シャッターボタンが完全に戻りきってから行なってください。途中で巻上げると、日付け文字が流れて写込まれることがあります。
- 日付け用スイッチをONにしたときは、シャッターを切るたびに画面に日付けが写し込まれます。途中まで撮影してあるフィルムを、デートマチックに装填してご使用になる場合には、必ず日付用スイッチをONからはずしてから操作してください。



## フラッシュ撮影

フラッシュ撮影に専用ストロボ キヤノライトEDを用いますと、EE撮影同様にピント合わせだけで適正露出の写真が写せます。その他のフラッシュやストロボを用いるときは、カメラにガイドナンバーのセットをする必要があります。なお直結接点のない発光器（ブラケットによる装着など）を使用する場合は、直結シューアダプターが必要になります。

### キヤノライトEDの場合

- 1 A-ガイドナンバー表示窓は、Aのままにしておきます。
- 2 キヤノライトEDをアクセサリシューに取付けます。シャッターは自動的にフラッシュ撮影に切替ります。
- 3 キヤノライトEDのスイッチをONにし、ネオンランプの点灯を確認します。
- 4 ピントを合わせます。距離に応じて自動的に絞りが決まります。





## 5 シャッターボタンを押します。

- キヤノライトEDを使う場合、撮影距離はASA100で0.8m～5mの範囲内で使用してください。それ以外では不適正となります。
- キヤノライトDも同様に使用できます。
- 日中撮影の補助光としては使えません。
- フラッシュ撮影をしない場合には、必ずキヤノライトEDをはずして使用してください。

## その他の発光器の場合

**1** 直結接点をもつ発光器は、そのままアクセサリシューに差込みます。

コード付の発光器の場合は、アクセサリシューに直結シューアダプターを差込みます。同時にコードをアダプターのフラッシュターミナルに差込みます。

差込むことによってシャッターは自動的にフラッシュ撮影に切換わります。

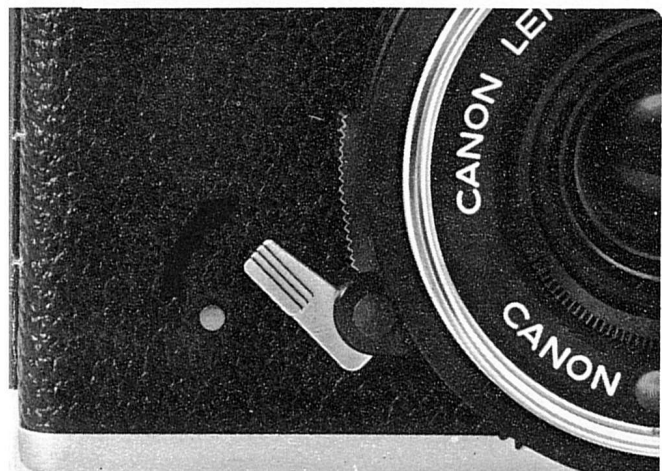
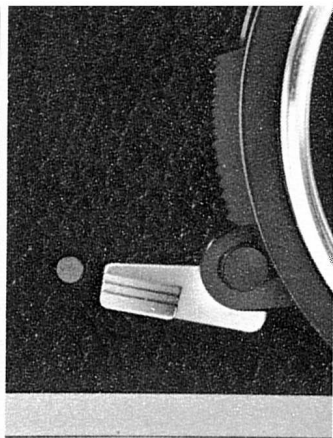
**2** フラッシュセットレバーを回して、ガイドナンバー表示窓にフィルムの種類に関係なく、ASA 100のときのガイドナンバーをセットします。

**3** ピントを合わせてシャッターを切ると、絞りは自動的に決まります。

- ガイドナンバーはフラッシュバルブの外箱またはストロボの説明書に明記されています。
- ガイドナンバーにはメーターとフィートがありますから注意してください。このカメラではメーターのガイドナンバーをご使用ください。
- フラッシュ撮影をしない場合は、発光器や直結シューアダプターは必ずはずしてください。

## セルフタイマー撮影

- 1 巻上げレバーを巻上げます。
  - 2 セルフタイマーレバーをセルフタイマー指標の赤点までいっぱいに回します。
  - 3 シャッターボタンをロックされるまで十分に押します。セルフタイマーレバーが動いていることを確認してください。
- セルフタイマーレバーを指標の赤点より手前で止めますと、シャッターが作動しないことがありますので、必ず赤点まで巻上げてください。
  - 1秒以上の長時間露光になるような暗い条件下では使用できません。



## フィルターを使うときは

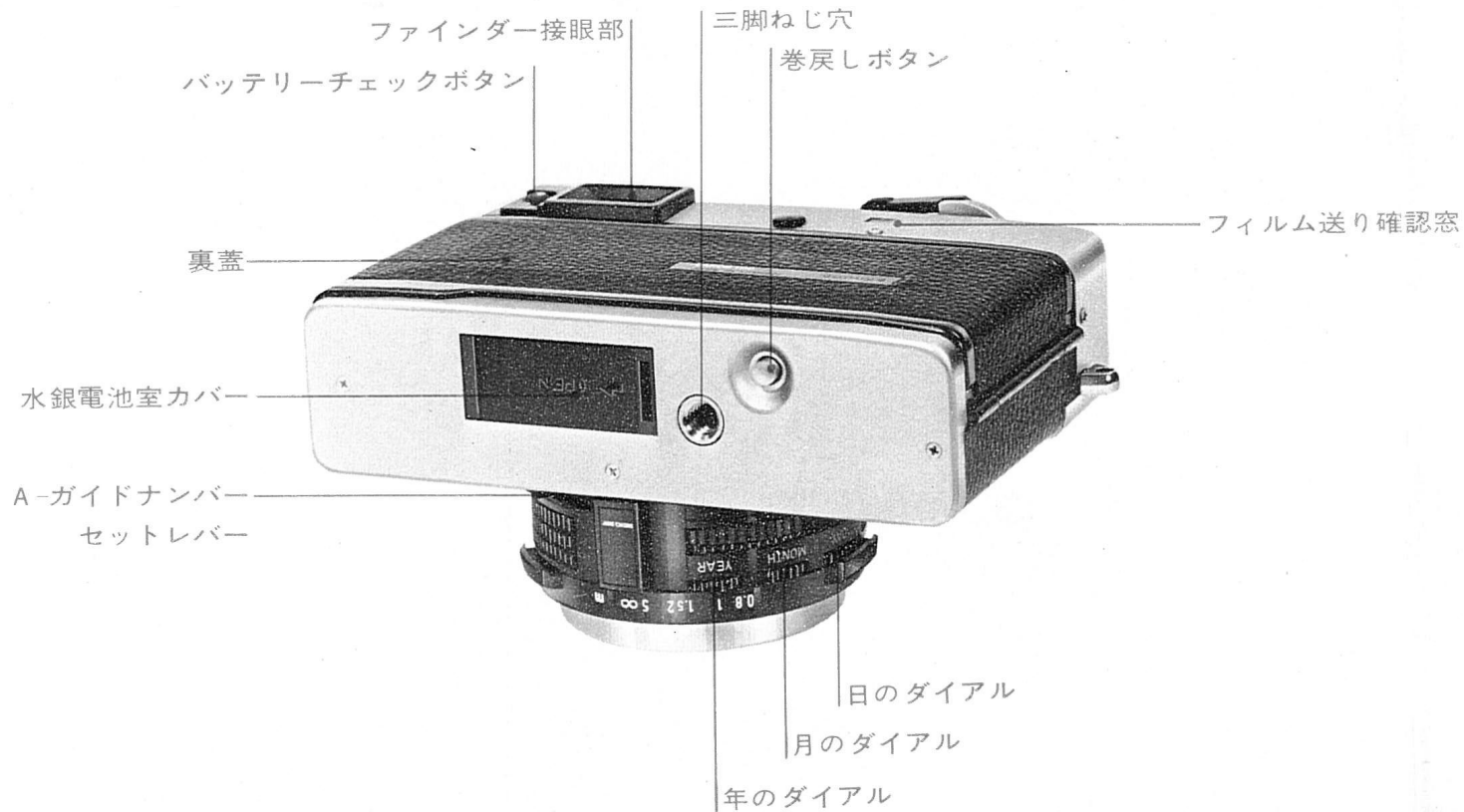
光を受けるCdS窓もいっしょにカバーされますから、露出補正という面倒な調整は必要なく、そのままE E撮影ができます。



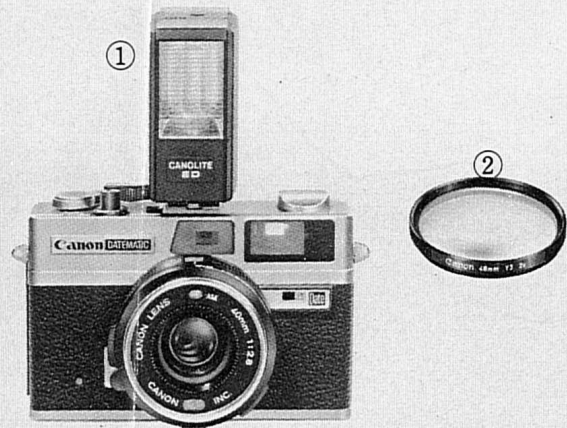


## カメラの保持についての注意

- 1 カメラを直射日光下や高温の場所に放置しないでください。車のリヤウインドウやトランクの中は、ときに60℃以上になる場合もあり、カメラ故障の原因になりますから注意してください。
- 2 カメラを保管する場所は、常温で湿気の少ないところを選んでください。
- 3 カメラを使用しないときには水銀電池を抜出してください。長い間入れたままでおきますと、電池の漏液などでカメラ側の電池接点をいため、修理しなければならなくなりますので注意してください。
- 4 レンズに指をふれないように扱ってください。指紋がついた場合は、やわらかい清潔な布で拭きとるか、シリコンクロスでそっと拭いてください。またホコリはブロワーで吹飛ばしてください。
- 5 海浜で使用した後は、塩分や砂などの影響がありますので、よく拭きとることが大切です。



## キヤノンデートマチックのアクセサリー



①

②

①キヤノライトE D (ケース付き)

②48mmフィルター各種

Y1, Y3, O1, G1, R1, UV, CCA4, CCA8, CCA12,  
CCB4, CCB8, CCB12, スカイライト, ND4, ND8

③キヤノネットフード5型

④キヤノンレリーズ30

” 50

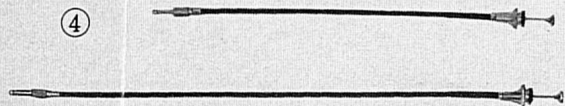
⑤直結シューアダプター

※なるべくフードをお使いください。

③

⑤

④



# Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108 東京都港区三田 3-11-28

カメラ販売企画部 (03) 455-9353

## サービスステーション

札幌	札幌市中央区北三條西 4-1 (第一生命ビル 4 階) (011) 231-1313
仙台	仙台市一番町 1-1-30 (やまと生命仙台ビル 6 階) (0222) 66-4151~7
新潟	新潟市東大通 1-4-1 (マルタケビル 7 階) (0252) 43-2111
東京	東京都中央区銀座 5-9-9 (03) 573-7834
	(160) 東京都新宿区西新宿 1-24-1 (第一生命ビル 2 階) (03) 348-4721
	(192) 八王子市八幡町 11-2 (八王子繊維貿易館) (0426) 25-7511
横浜	横浜市中央区南仲通り 4-39 (石橋ビル 1 階) (045) 211-1691
千葉	千葉市千葉港 4-3 (千葉県私学会館 4 階) (0472) 43-9648
大宮	大宮市桜木町 4-218 (共栄ビル 2 階) (0486) 41-9122
静岡	静岡市鷹匠 2-7-2 (静米会館 1 階) (0542) 55-2241
名古屋	名古屋市中村区堀内町 4-1 (毎日日会館) (052) 581-3811
大阪	大阪市北区通梅田 2 (第一生命ビル) (06) 341-9335
京都	京都市中京区御池通間之町東入ル (東邦生命ビル 5 階) (075) 241-0216
金沢	金沢市尾張町 1-11-14 (住友生命ビル 3 階) (0762) 32-1711
高松	高松市番町 2-17-15 (第二讃機ビル 1 階) (0878) 22-2044
岡山	岡山市中山下 1-9-40 (新岡山ビル 5 階) (0862) 22-8228
広島	広島市小町 2-30 (第二有楽ビル 4 階) (0822) 44-4615
福岡	福岡市博多区博多駅前 4-20-23 (セントラルビル 1 階) (092) 411-4172

PUB. TIJ1022Q 1076M15

PRINTED IN TAIWAN, R.O.C.